

マリンバのための20の子供の曲

「イメージ」

解説

01. ゆりかごから

「自分の夢が叶えられるようなテクニックを創り出せ」

——チック・コリア

- 目的

想像力

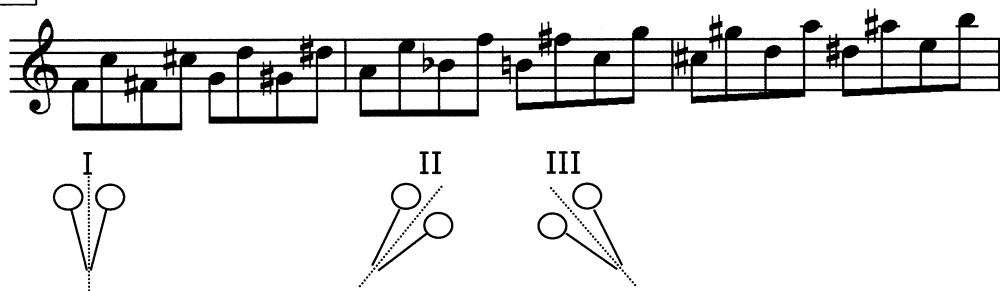
楽器を弾くのを本当の意味でマスターするのは言うまでもなく一生の大仕事です。良い時もあり、悪い時もあります。第一の練習曲とその他曲に共通して言える目的は一つの問題を解決するために出来るだけ沢山の解決策を考えだせるようになることです。解決へのアプローチが多ければ多いほど問題は即解決され、「過去の事」になるだけではなく、これから直面する問題も減ることになるのです。これは車を修理する時に置き換えればすぐ分かります。道具が一つしかなかった場合、気の遠くなるような長い時間をかけても車を修理できませんが、色々な種類の道具を持っていれば車の修理が出来るのです。練習している時に直面する様々な問題、難しいポイントも同じことです。色々な解決策があれば、問題は解決出来るのです。

- 技術的なことへの留意点

☑ 肘の位置

左手のシングル・オルタネーティング・ストロークを練習している時に、右手にメロディーを加えて即興をしてみました。ここでは、まだ弾かずに次の例を見て下さい。最初の音を12音階に移調すると、動きとマレットの位置から考えて、3つのパターンがあることが判ります。IのパターンはFからC、IIのパターンはBbからF、IIIのパターンはBからF#。一つのパターンをしっかりと練習して体得すれば、同じパターンの他の音程は練習しなくても良いので時間の節約になります。Iのパターンだったら、F#からC#やGからDなどは同じパターンの音なのでマレットの幅や角度をあまり変える必要がありません。

01.01.



重要！：「どう」練習するかは、「何を」練習するかよりも重要です。

☑ 五度

この曲は手にとって最も自然な五度から始まります。だから主旋律に集中しやすいのです。予備練習としてダブル・バーチカル・ストロークを試してみましょう。このとき肘が2本のマレットのなるべく中心にくるように気をつけて下さい。(マリンバの三原則参照)

01.02.



シングル・オルタネーティング・ストローク

シングル・オルタネーティング・ストロークを使って弾きましょう。

01.03.



3つのポジションを組み合わせて弾いてみましょう。

01.04.



低音と高音のパターンを逆に弾いてみましょう。

01.05.



ではここで、01.04 と 01.05 を A としましょう。B はどうなると思いますか？ 下行形になります。

01.06.

